

シニアWGではアンケートを実施し、富山の地盤工学研究発表会で結果を報告しました。

シニア会員に学会活動を楽しんでいただくためには？

ダイバーシティ委員会 シニア対応ワーキング
リーダー 亀村 勝美（深田地質研究所）

ダイバーシティとシニアWG

- } 地盤工学会は1949年国際土質基礎工学会の日本支部に当たる「日本土質基礎工学委員会」として設立され、以来64年を迎えた。
 - } 高度経済成長政策の下、積極的な社会基盤整備事業が繰り広げられ、地盤工学会(当時は土質工学会)の活動も活況を呈した。しかし、1991年に起こったバブル崩壊以降の低成長経済下の社会にあっては建設事業は縮小の一途をたどっている。こうした状況に伴い地盤工学会の会員も**1999年3月末の14649名**(= 正会員13728名 + 学生会員921名)をピークに漸減を続け、**今年3月末の会員は8673名**(= 正会員7844名 + 学生会員829名)まで減少した。
 - } 現実問題として赤字が生じており、学会活動の縮小などを模索せざるを得ない状況となっている。
 - } そこで学会では、ダイバーシティ委員会を設立し、若手や女性の会員の増加のための方策を検討し、実施してきた。そしてもう一つ新たな試みとして、シニア世代の学会活動への積極的な参画を探るWGを発足させた。
-



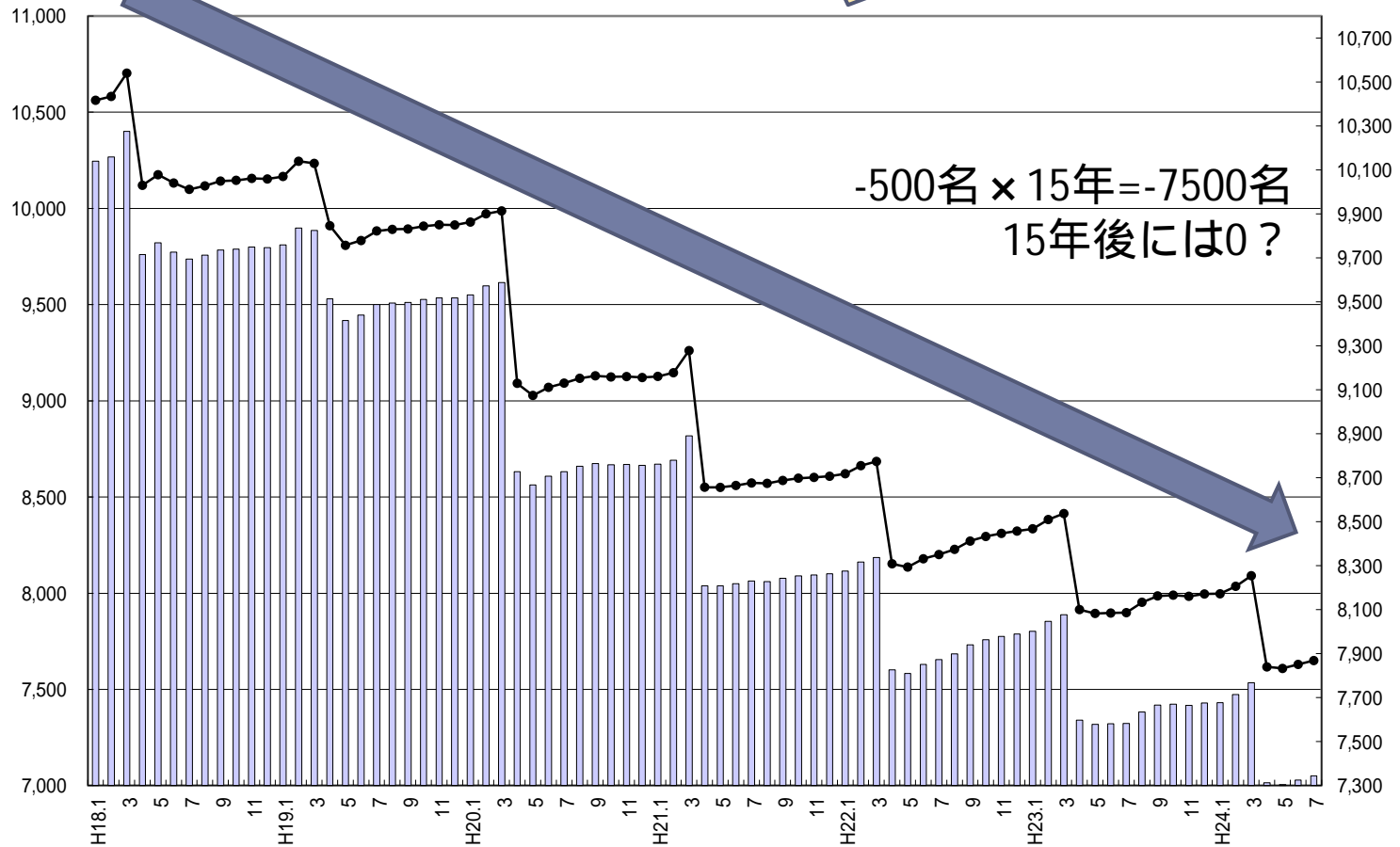
会員の動向

会員は確実に減少
しつつあります。

会員数(人)

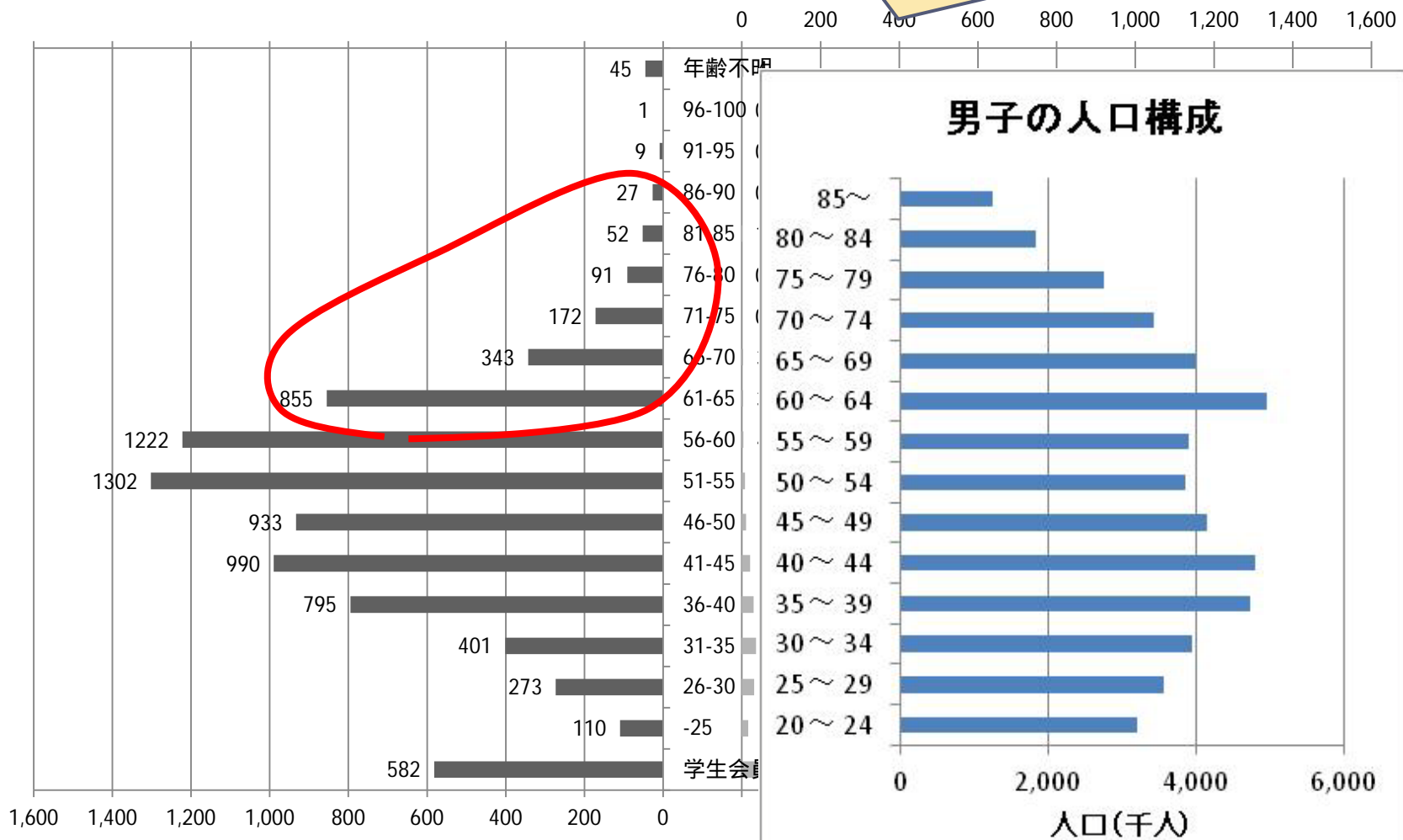
正会員数の月別推移

会費金額(万円)



会員の現況

左は現在の男性会員の状況です。右は日本の男性人口です。比べるとシニア会員が少なくなっていることが判ります。



シニアWGの目的と実施内容

- } WGは、シニア世代が定年になったり、転職したり、あるいは現場から離れた後にも何らかの形で学会活動に参画いただくために何が必要なのかについて、皆様からのご意見を反映させつつ検討し、出来るものについては直ぐに実行して行くことを目的としています。

シニア会員が学会活動をどう考えているかを把握するための
アンケート実施(5/21-31)



結果のまとめと意見聴取(7/23)

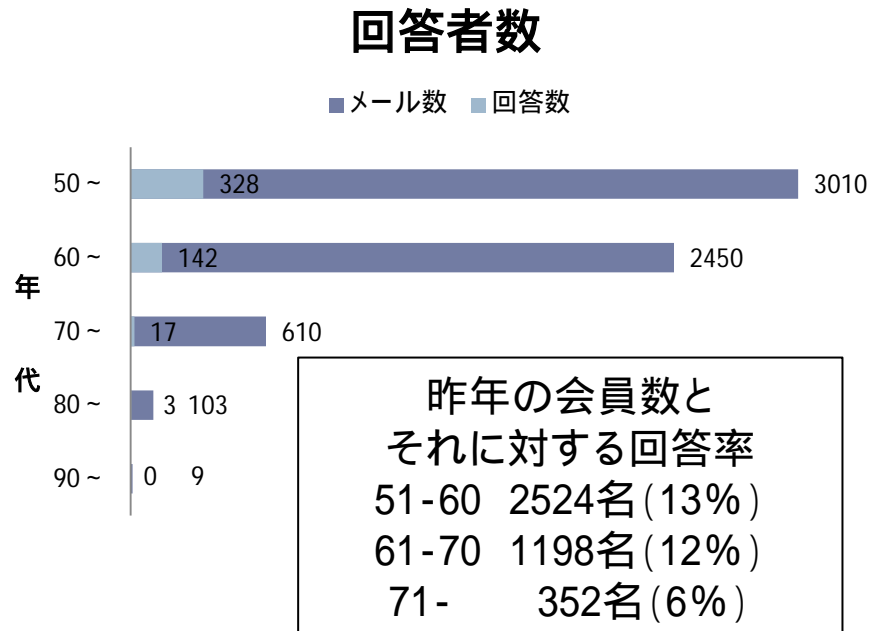
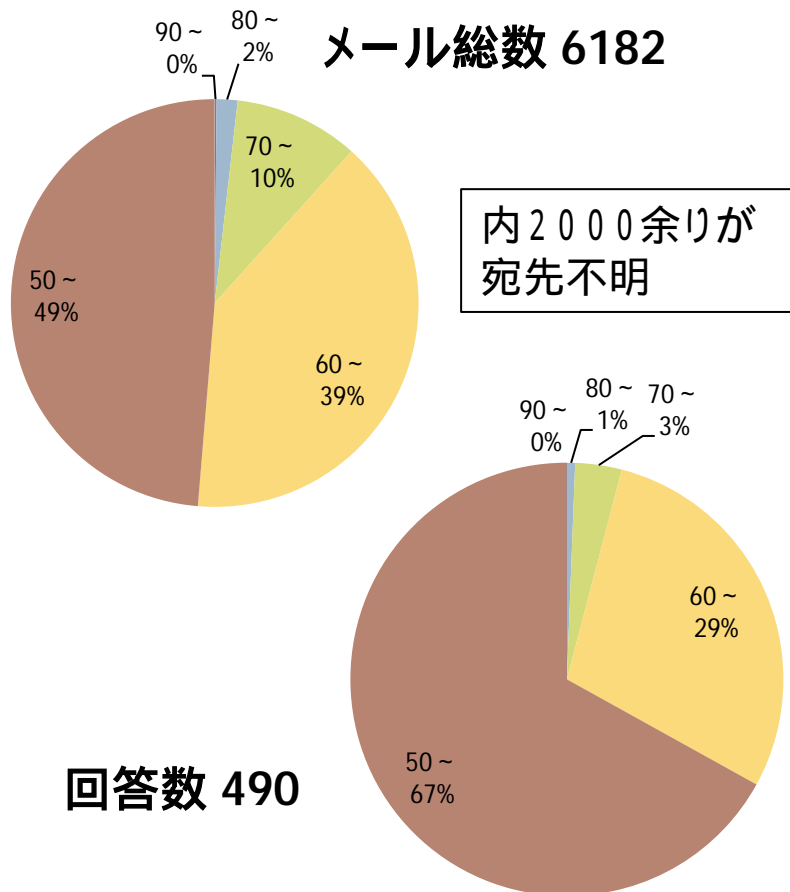


アンケート結果と意見等を集約し、学会理事会へ答申

アンケートの実施

アンケートに対し490名の回答を頂きました。

51歳以上の会員あるいは会員であった方全員にアンケートのお願いをメールさせていただきました。



回答者の内訳

学会員歴は？（途中抜けている方は通算で）

選択肢	回答数
～5年	36
6～10年	41
11～15年	53
16～20年	52
21～30年	138
31年～	169

所属をお答え下さい。

選択肢	回答数
官公庁・自治体	14
独立行政法人	7
公益、一般、NPO法人	15
民間企業（調査・設計関係）	199
民間企業（建設関係）	140
民間企業（その他）	43
教員	31
自営	18
無職	7
その他	15

民間企業関係者が
圧倒的多数でした。

回答者の内訳

それは、常勤ですか？非常勤ですか？

選択肢	回答数	
常勤	445	
非常勤	23	
どちらでもない	21	

多くの方が現役で活躍されており、会員も継続予定のようです。








現在、学会員ですか？

選択肢	回答数	
現在も会員であり、まだ続けるつもり	355	
現在は会員であるが、辞めるつもりである	48	
かつて会員だったが辞めた	80	
その他	6	

会員であることのメリット

何と言っても面白くて、
仕事に役立たねば！

5で会員を続けるとお答えになった方、その理由をお聞かせ下さい。複数選択可

選択肢	回答数	
自分の仕事に役立っている	221	
何となく続けている	70	
自分の専門分野であり興味がある	231	
学会で発表するため	59	
属している組織からの要請のため	33	
社会との関わりを維持したい	71	
その他	20	

会員を辞めた/この先辞める理由

5で会員を辞めた/辞めるつもりとお答えになった方、その理由をお聞かせ下さい。複数選択可

選択肢	回答数	
自分の仕事に役立っていない	33	
何となく辞めた	3	
活動が面白くない	12	
会費に見合ったものが無い	51	
定年になった(退職した)ので辞めた	32	
会員としてやる事が無い	34	
学会で発表することもなくなった	34	
属している組織からの要請が無くなったため	13	
その他	25	

会費に見合ったものがないと辞めちゃうよ！

学会活動の形態

会員が参加できる学会活動には様々なものがあります。

n研究委員会

調査・研究部、基準部

n運営に関わる委員会

出版部、国際部、会員・支部部など

n研究発表会

nシンポジウム

n講演会

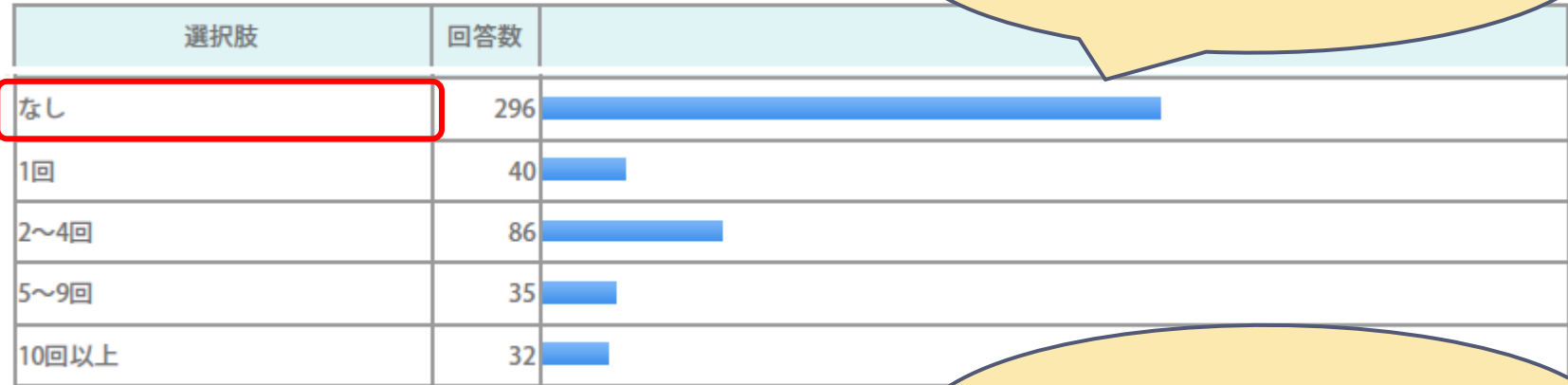
n講習会

ではシニア会員はどんな活動をしているのでしょうか？



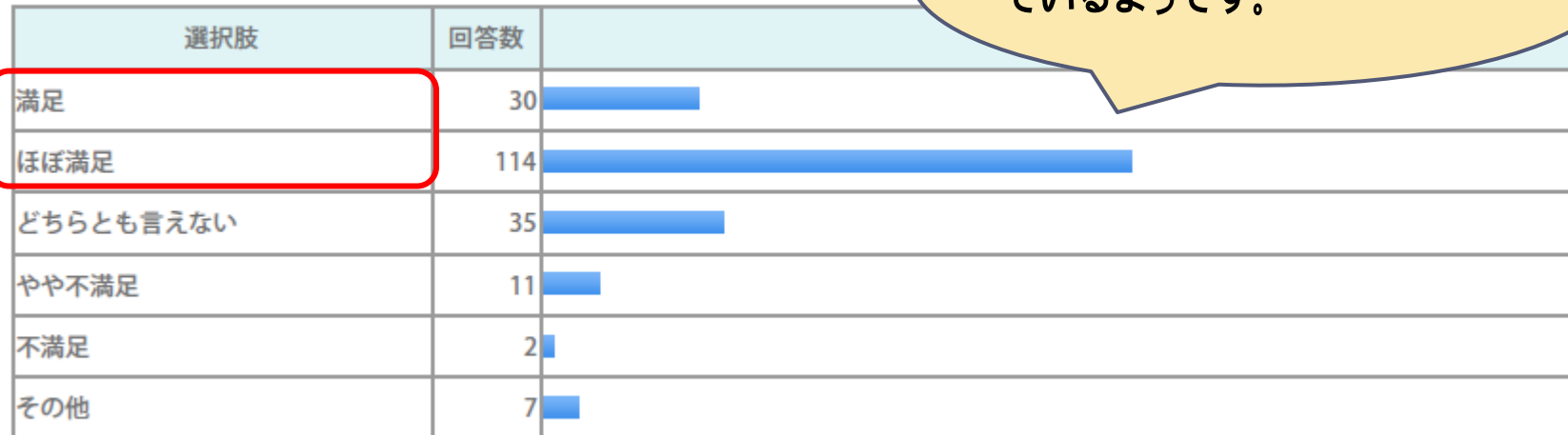
研究委員会活動について

学会の研究委員会活動の経験は？



60%の方は研究委員会活動を経験されていません。

研究委員会の経験のある方、その経験はいかがでしたか？



でも経験された方は満足されているようです。



運営等に関わる活動について

学会の運営に関わる委員会(例えば、総務部、会員支部部、国際部、会誌部、事業部、基準部、各支部などにおける委員会)活動の経験は？

選択肢	回答数	
なし	351	
1回	42	
2~4回	53	
5~9回	21	
10回以上	22	

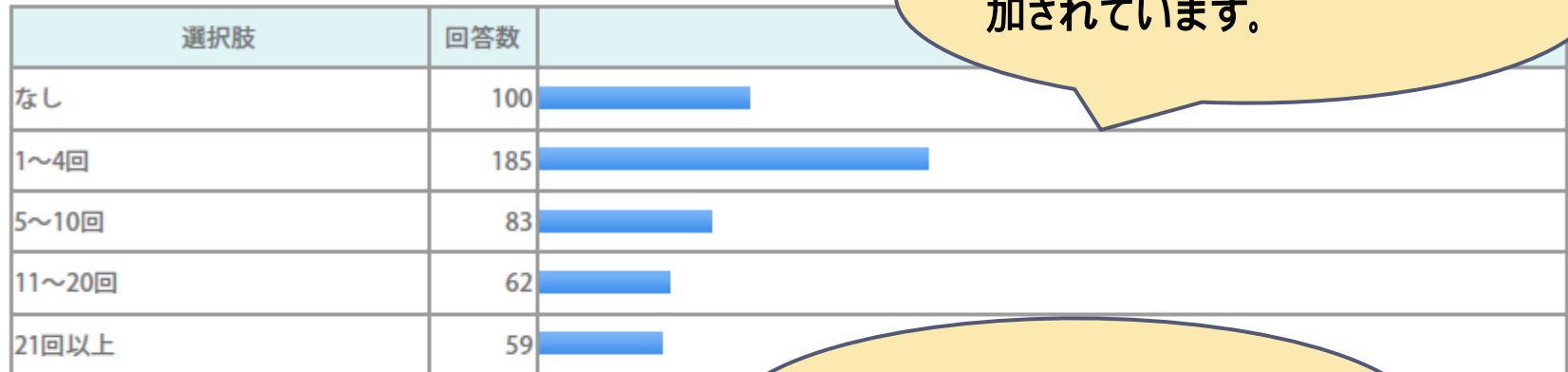
運営に関わる活動の経験のある方は更に少ないようです。が、経験された方は満足されています。

運営に関する委員会活動の経験のある方、その経験はいかがでしたか？

選択肢	回答数	
満足	23	
ほぼ満足	76	
どちらとも言えない	37	
やや不満足	7	
不満足	2	
その他	7	

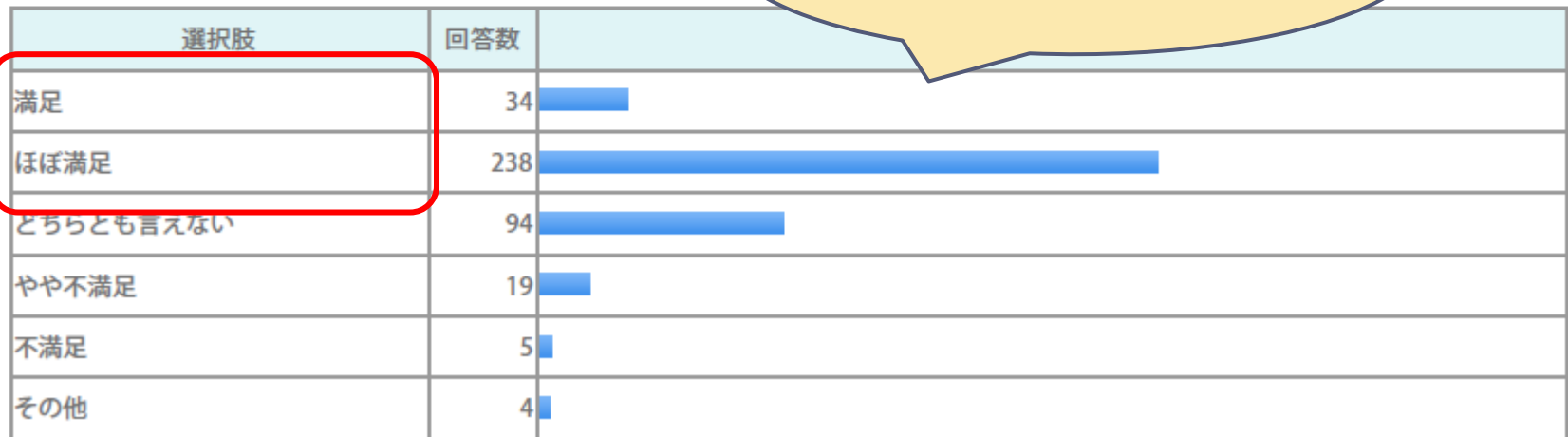
研究発表会について

これまでに研究発表会に参加しましたか？



80%の方は研究発表会に参加されています。

研究発表会はいかがでしたか？



参加された方には、楽しんでいただけましたようです。



シンポジウムについて

これまでにシンポジウムに参加しましたか？

選択肢	回答数	
なし	99	
1~4回	233	
5~10回	111	
11~20回	33	
21回以上	13	

シンポジウムについても同様です。

シンポジウムはいかがでしたか？

選択肢	回答数	
満足	31	
ほぼ満足	264	
どちらとも言えない	86	
やや不満足	11	
不満足	2	
その他	3	

講習会について

これまでに講習会に参加しましたか？

選択肢	回答数	
なし	100	
1~4回	210	
5~10回	113	
11~20回	40	
21回以上	26	

講習会についても同様です。

講習会はいかがでしたか？

選択肢	回答数	
満足	35	
ほぼ満足	260	
どちらとも言えない	86	
やや不満足	7	
不満足	2	
その他	7	

講演会について

これまでに講演会に参加しましたか？

選択肢	回答数	
なし	85	
1~4回	251	
5~10回	102	
11~20回	26	
21回以上	25	

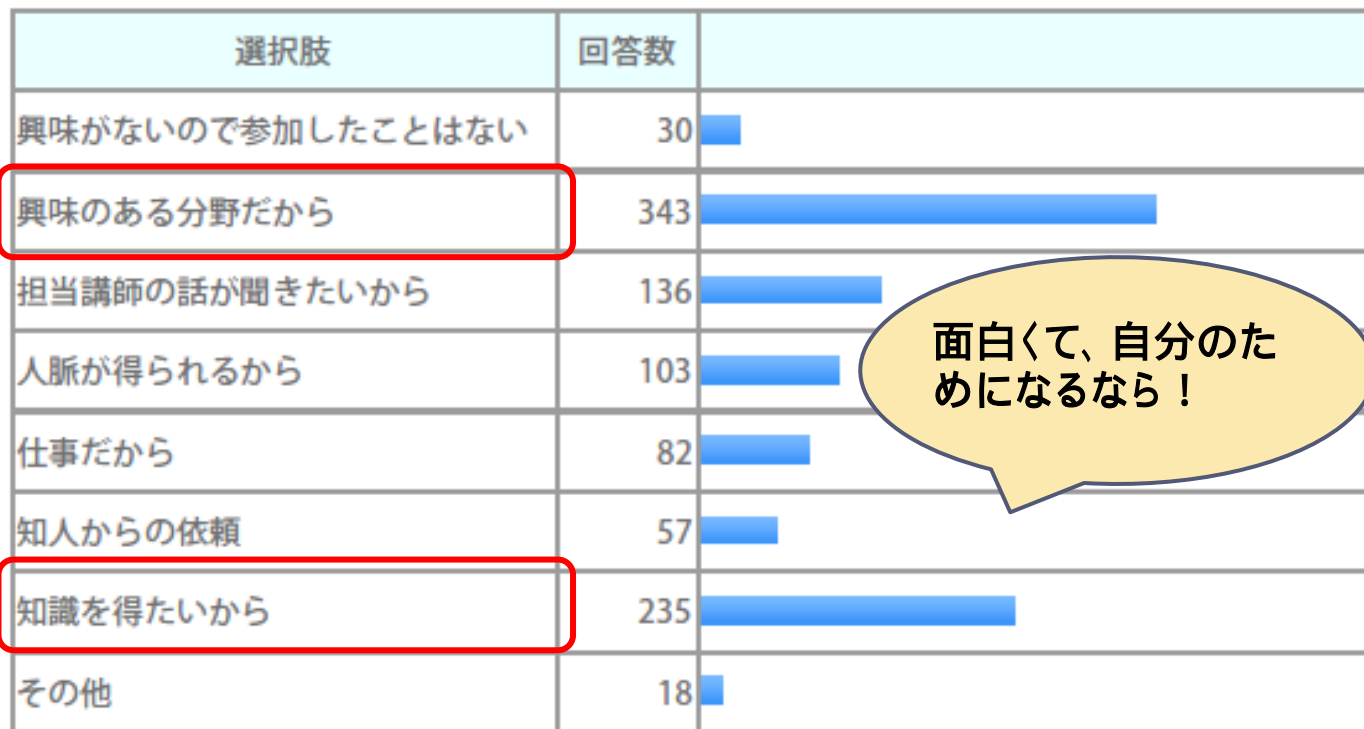
講演会にも多くの方が参加され、満足されています。

講演会はいかがでしたか？

選択肢	回答数	
満足	41	
ほぼ満足	285	
どちらとも言えない	75	
やや不満足	4	
不満足	0	
その他	4	

参加した理由

学会の委員会や催事に参加した動機をお聞かせ下さい。複数選択可



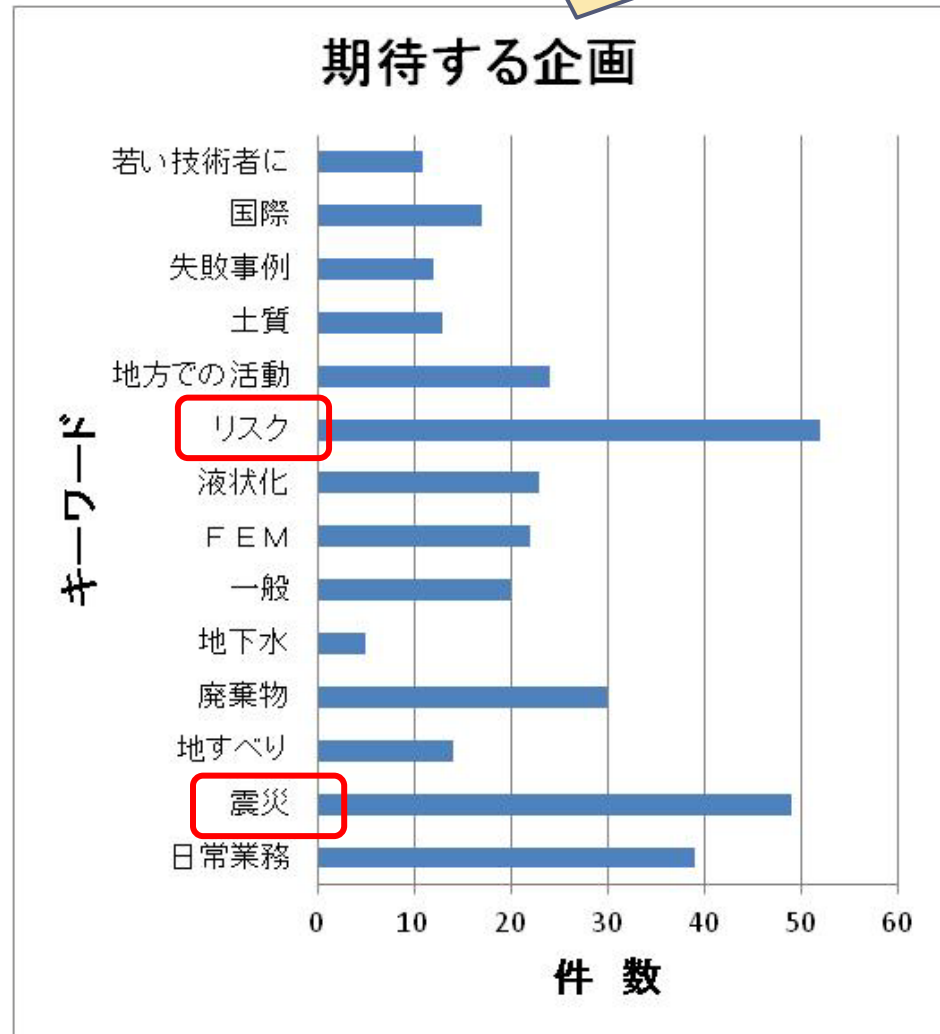
その他では、「CDPのため」と回答いただいた方が4名いらっしゃいました。

こんな企画なら参加したい

やはり東日本大震災の影響は大きいようです。

373名からご意見を頂きました

分類	キーワード
若い技術者に	若手、学生、若い技術者に
国際	海外、国際
失敗事例	トラブル、失敗
土質	土質
地方での活動	地域、支部、地方、ローカル、北海道でも、東京での
リスク	災害、防災、リスク
液状化	液状化
FEM	数値、解析、FEM、FEM
一般	市民、一般
地下水	地下水
廃棄物	環境、汚染、廃棄物
地すべり	斜面、地すべり
震災	地震、震災
日常業務	現場、実践、実務、実用、業務に直結、日頃の業務



今後参加する場合の形態について

今後ご自身が学会活動に参加する場合、その場所は？

選択肢	回答数	
本部で	46	
支部で	122	
どちらでも	145	
参加しない	176	

参加の形態は？複数選択可

選択肢	回答数	
講師あるいは話題提供	107	
運営に関するボランティア	124	
その他	80	

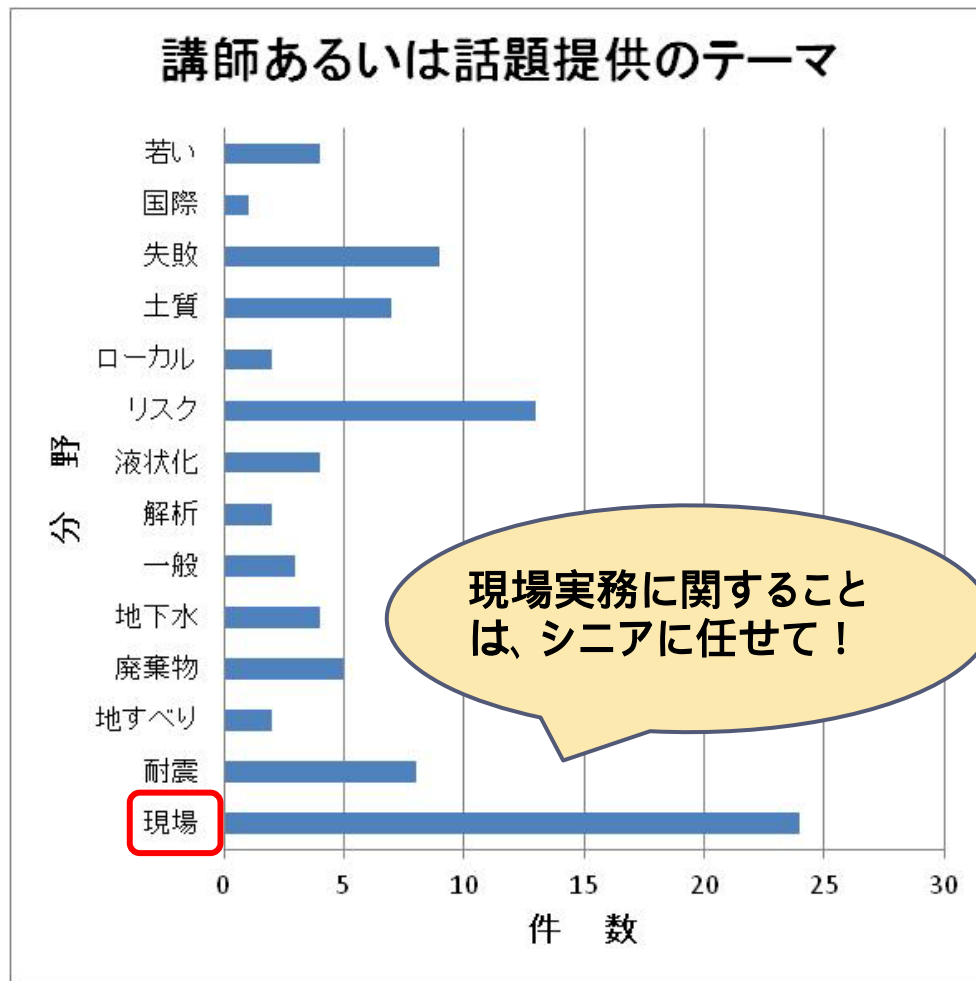
多くの方が、様々な形で参加を考えて下さっています。



こんな活動をやってみたい（講師、話題提供）

92名からご意見を頂きました

分類	キーワード
若い	若手、若い技術者に
国際	海外、国際
失敗	トラブル、失敗
土質	土質
ローカル	地域
リスク	災害、防災、リスク
液状化	液状化
解析	解析、FEM、FEM
一般	市民、一般
地下水	地下水
廃棄物	環境、汚染、
地すべり	斜面、地すべり
耐震	地震、震災、耐震
現場	現場、実務、実用、経験

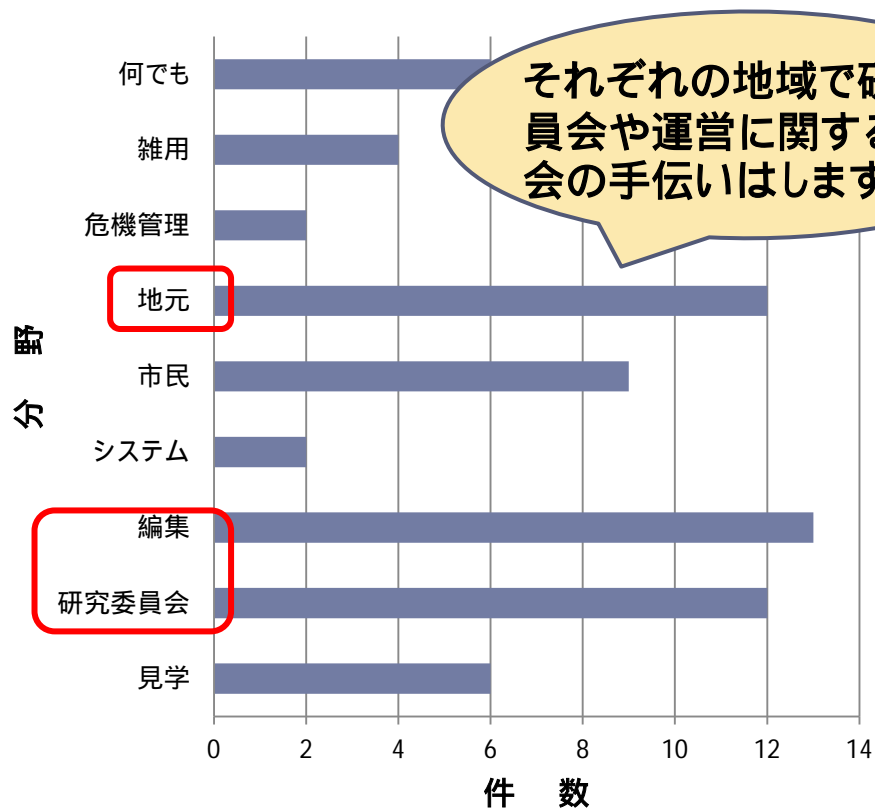


こんな活動をやってみたい（ボランティア）

69名からご意見を頂きました

分類	キーワード
何でも	何でも
雑用	事務、雑用
危機管理	トラブル、危機管理
地元	地域、支部、地方、地元
市民	市民、一般、住民、子供
システム	システム関連
編集	企画、広報、編集、運営
研究委員会	研究委員会
見学	現場、見学

ボランティアで参加



会員継続と特典

どんな特典があれば会員を継続しますか？複数選択可

選択肢	回答数	
会費の減免	351	
講習会等参加費の割引	188	
その他	85	

でも退職後は、やっぱりお小遣いが…。

その他での主なご意見：

- ・特典はいい(20)
- ・情報の充実(5)

学会に対する希望・意見

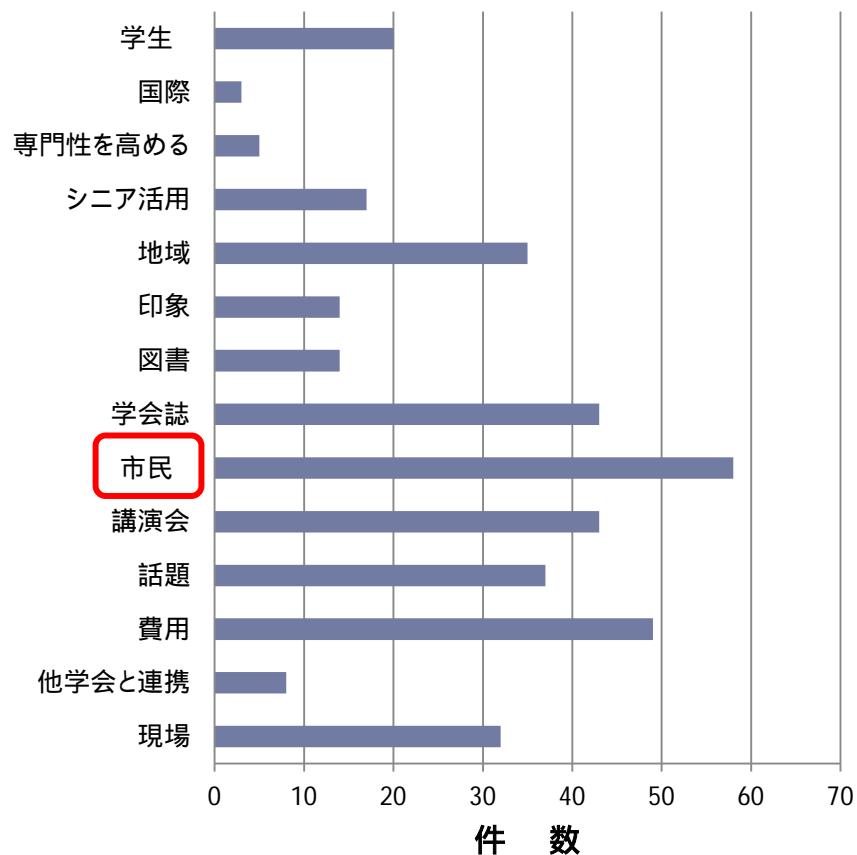
学会は、一般の方へ
情報発信しなくては。

373名からご意見を頂きました

学会への意見・要望

分類	キーワード
学生	若手、女性、学生
国際	海外、国際
専門性を高める	専門性を高める
シニア活用	シニア活用
地域	地域、支部、地方
印象	かたい、敷居が高い、学際的
図書	書籍、出版、図書、電子化
学会誌	学会誌
市民	市民、一般への宣伝認知
講演会	講習会、講演会、勉強会
話題	話題、情報
費用	会費、費用、特典
他学会と連携	他学会と連携
現場	現場、実務、実用重視

観
点



アンケートを終えて

- } アンケートには多くの方のご協力を頂きました。皆さんが学会活動に決して無関心ではないことが伺われます。
- } そして、色々な形で学会活動を続けて行きたい方が沢山いらっしゃる事が判りました。
- } ただその思いと学会の現在の活動が必ずしも一致していないことも浮かび上がってきました。



何が求められているか？

- } 会費や参加費の減免
- } シニアが参加できる活動の企画



しかし

- } 会員(会費)減少の解決策？

シニアの方に参加いただける方策はありそうです。ですが、会員減の解決にはまだ課題が…。

アンケートを終えて

- } これまでの学会の活動内容を見直し、会員と社会に貢献できるような活動を考える必要がある。

成長期

官からの要求に学と民が応える



安定期

学がリードし民が応える



衰退期

民の活力をどう学会活動に
反映させるか

皆様のご意見を参考に、学会の次のステップを考えて行きます。